

令和5年度 病院再整備事業 移転新築新病院建築工事
の事後審査型一般競争入札に関する質問回答書

No.	質問事項	回答
	(施工条件・工事区分、その他共通事項)	
1	工事内容仕様に関する優先順位は、1. 質疑回答 2. 図面 3. 内訳書と考えるとよろしいですか。	優先順位については下記に記載の通りとします。金抜内訳書は参考資料です。 1. 質問回答書（本書） 2. 現場説明書 3. 実施設計図 4. 標準仕様書
2	(1)入札時に提出する工事費内訳書について内訳書の書式は任意でよろしいでしょうか。 内訳書はどのレベルまでを提出するのでしょうか。 内訳書の記載内容について、自社にて精査の結果、項目、数量に追加、変更がある場合は必ずしも金抜内訳書(参考数量)と一致しない内容でもよろしいでしょうか。	内訳書の書式は任意で支障ありません。また、内訳書は中科目までの内訳の提出をお願いします。 金抜内訳書は参考数量であることから項目の追加及び数量の変更は各社にて判断し行ってください。本書の回答による変更箇所は判別できるよう記載ください。
3	町道工事に伴う東側ゲートの使用が不可となる時期はございますでしょうか。	町道柏原小前線道路改良工事の関係者との協議事項とします。
4	設備図 M508・509 図の液酸ハル庫、M317 図の LPG ハル庫の所掌は設備所掌でしょうか。建築・設備の所掌区分と、上屋含めた仕様をご指示願います。又、LPG ハル庫の基礎のコンクリートの配合並びに基礎配筋仕様をご指示願います。 (A-014 図)	上屋・基礎共機械設備工事区分とします。基礎配筋要領は設置者となるガス供給業者の規定によるものとし、各社にてご判断ください。

5	<p>M-509 図に記載ある、液酸バルク庫の基礎下深層混合処理工法（ファイerpイル工法 civ）を、本体工事と同じソリッドキューブ工法での施工は可能でしょうか。</p> <p>他、カルテ棟、ゴミ庫、車庫棟等の付属棟基礎下の地盤改良は不要でしょうか。</p>	<p>液酸バルク庫の改良工法について、受注後の工法提案は可能ですが、見積内容を同条件とするため、設計図に記載の工法にて見積を行ってください。</p> <p>カルテ庫、ゴミ庫、車庫棟等の基礎下地盤改良は不要です。</p>
6	<p>特記仕様書 共通事項に見本施工の実施(内容:外壁-1、内装:小幅板貼り)がありますが、見本施工のサイズが不明です。御教示願います。</p> <p>(A-004 図)</p>	<p>下記寸法とします。</p> <p>外壁-1：2m×2m程度</p> <p>小幅板貼り：0.9m×1.8m程度</p>
7	<p>仕上特記、仕上材料名表示凡例等に記載のある、メーカー、材料名は指定品目でしょうか。同等品として計上させて頂いても宜しいでしょうか。</p> <p>(A-019 図)</p>	<p>仕上りや各種性能が同等以上であれば、同等品の採用は可能です。</p>
8	<p>事項中の項目は※印または◎印の付いた項目及び仕様を適用し、「×」印又は「・」は適用しないとあり、項目:1、6、7、8、9、11、12、14 とありますが、項目:1、6 の事項と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-019 図)</p>	<p>よろしい。</p> <p>A-019 図に記載の内容に加えて下記を適用事項とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かさ上げコンクリートは t 100 以下は溶接金網 6φ100×100 とし、t 100 以上は D10 100×100 メッシュ筋とする。 ・床下防湿層は t 0.15mm ポリエチレンフィルムとし、適用箇所は水槽下部とする。 ・RC 片持ちスラブバルコニー、手摺壁等には、図中記載がなくとも伸縮調整目地を 3m 間隔以内で適切に設ける。 ・屋外において異なる材料の取合部分及びジョイント部分には、すべてシーリング(仕様書 9.6.2)を充填する。 ・構造スリットの目地は、外壁面側及び内壁側の両面にシーリングを施工する。

9	鍵箱の材種・収納本数を御教示願います。 (A-009 図)	スチール製 200 本とします。
	(仮設)	
10	敷地南側、町道柏原小前線道路改良工事が、概略工程に記載あります。8月初めに現地確認したところ、すでに工事の準備をされていましたが、当該ハッチング部分に現場事務所予定地とあります。工事搬入車両動線含め支障ないでしょうか。 (A-100 図)	町道柏原小前線道路改良工事においては、令和5年7月より新病院建築工事より先行して着工しています。建築工事敷地内への工事搬入車両動線については、道路工事関係者と協議の上、搬入路を確保いただくこととなります。
11	仮設計画参考図に記載の概略工程表に記載のR5.12～R6.3にかけて現場作業休止期間とありますが、現場事務所内にての工務的な準備作業は可能でしょうか。 (A-100 図)	積雪を考慮し現場作業休止期間を設けていますが、敷地の立ち入りや現場の作業を制限するものではありません。工事工程については各社の判断で設定してください。
12	仮設計画図に記載ある仮囲いについて、金抜内訳書に記載ある数量が、仮囲いA(メッシュシート張り),B(鋼板)と逆転しています。又、道路面や、近隣境界に近接している部分がA(メッシュシート張り)となっていますが、標記が反対ではないでしょうか。更に、現地確認したところ、東西面の間知ブロック擁壁+メッシュフェンス部分は、仮囲い不要に思われます。南北面の道路に面している部分と、東体育館に接している部分に限定の上、設置個所が勾配あることから、H2mのメッシュシートで、計画させて頂いて宜しいでしょうか。又、東寄りのH4500のシートゲートも、車両、人通りも少ないことからキャスターゲートにて計画しても宜しいでしょうか。	仮設計画については参考図であり、工事着手時の協議事項とします。見積内容を同条件とするため、数量についてはA-100図の内容としてください。
13	敷地外周部(北面、西面他)の高木は伐採されますか。残置であれば、工事車両動線上の剪定、枝払いが必要と思われそうですが、ご確認ください。	敷地外周部(北面、西面他)の高木の伐採の予定はありません。工事車両動線の支障になる樹木の伐採等は 詳細を確認の上、必要に応じて協議事項とします。

14	南側現場搬入乗入れ口の現状地盤では大型車両が搬入できませんが、仮設搬入路地盤整備は、建築所掌でしょうか。	仮設搬入路地盤整備は建築所掌となりますが、道路改良工事の進捗状況にもよるため、道路工事との協議事項とします。
15	起工式前、着工前準備工事として草刈範囲は、A-088 図、建築所掌外構工事範囲(約 4350m ²)のみと考えて宜しいですか。又、起工式の時期はいつ頃とお考えですか。	草刈範囲は、新病院建築工事に支障のある範囲と考えて支障ありません。また、発注者が主体となる起工式の実施予定はありません。
16	仮設計画図の外部足場、東西面防音シート張、南北面メッシュシート張表示となっていますが、建築内訳明細では、災害防止、垂直養生として、防炎シートとなっています。現場地盤レベルが、近隣住居レベルと高低差があることなどから、防音シート及び、防炎シートでは、防音対策の効果は低いと思われます。風考慮を優先し、メッシュシートにて計画の上、計上させて頂いて宜しいですか。 (A-100 図)	仮設計画については参考図であり、工事着手時の協議事項とします。見積内容を同条件とするため、数量については A-100 図の内容としてください。
(A 本体棟：土工・地業・躯体)		
17	金抜き内訳、土工事不用土処分の摘要欄に、構内指示の場所に堆積と、ありますが、図面に指示がないようですので、ご指示頂けないでしょうか。	別途外構工事の盛土として流用するため敷地南側に堆積し別途外構工事へ引き渡しとします。 盛土流用以外の不用土については敷地南側道路との境界（道路工事擁壁面）部分に敷き均しとします。
18	矩計図(3)で土間床版下は、捨コン t50+砕石 t120、特記では砂利地業厚さ 6020 mmと記載あります。礎版(FS1)下含め、御教示願います。 (A-005・033 図)	土間下及び FS1 下の砕石地業は A-033 図を正とします。
19	1F 床下砕石ピットの砕石厚さ、A-032 図に t150 とありますが A-005 図特記には使用範囲等に記載ありません。再生クラッシュラン 40-0 で宜しいですか。 (A-025 図、S-13 図)	よろしい。

20	<p>コンクリート仕様は、1階壁は Fc27, s18、R階設備基礎は Fc24, S18、1～2階設備基礎は、Fc27, s18 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(S-01 図)</p>	<p>よろしい。</p>
21	<p>躯体コンクリート(Fc24, 27)の混和剤は、AE減水剤と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(S-01 図)</p>	<p>必要に応じて各社で判断ください。</p>
22	<p>防水押えの仕様は Fc18, S15 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(S-01 図)</p>	<p>よろしい。</p>
23	<p>JIS規格「JIS G 3112:2020」改正のため SD295A は SD295 へ名称が変更になっております。鉄筋 SD295A は SD295 と読み替えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(S-01 図)</p>	<p>よろしい。</p>
24	<p>パラペットで、雑配筋詳細図では厚み 180 とありますが、パラペット詳細図では厚み 150 となっています。厚み 150 を正と考えて宜しいでしょうか。その場合、配筋は厚み 180 の配筋に倣って宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-033 図. S-29 図)</p>	<p>S-29 図を正とします。</p>
25	<p>コンクリート構造体強度(温度)補正について、構造特記に記載がなく、金抜き内訳書にも 3N/mm² の内訳のみですが、暑中コンクリートの補正は不要でしょうか。</p> <p>(S-01 図)</p>	<p>建設地は暑中コンクリートの該当期間はありません。補正が必要と思われる場合には各社にて判断いただき追加してください。</p>

26	<p>R階 Y5 通り X5～X6 間の梁符号で、R階梁伏図では G5、Y5 通り軸組図では G1 となっています。伏図の G5 を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(S-16 図, 19 図)</p>	<p>よろしい。</p>
27	<p>基礎ピット伏図の FS1<-1, 250>で、X3, X8 通り軸組図では梁下増打が FS1 下までとなっています。礎版 FS1<-1, 250>の下には砕石ピットがあると考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(S-13 図, 20～21 図)</p>	<p>よろしい。</p>
29	<p>スリーブ箇所数で、スリーブ図と表で以下の様に相違します。スリーブ図を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>1階</p> <p>125φ スリーブ図：2 表：3</p> <p>150φ スリーブ図：64 表：なし</p> <p>200φ スリーブ図：61 表：63</p> <p>225φ スリーブ図：1 表：なし</p> <p>250φ スリーブ図：2 表：60</p> <p>300φ スリーブ図：なし 表：3</p> <p>2階</p> <p>150φ スリーブ図：7 表：なし</p> <p>200φ スリーブ図：22 表：7</p> <p>250φ スリーブ図：なし 表：22</p> <p>(S-32 図, 33 図)</p>	<p>スリーブ図を正とします。</p>
30	<p>スリーブの補強は既製品と考えて宜しいでしょうか。在来補強の場合は補強要領を御教示願います。</p> <p>(S-05 図)</p>	<p>よろしい (S-05 に記載のとおり)。</p>

31	2階パラペットと屋上のパラペット、設備基礎のコンクリート仕様はFc27, S18と考えると宜しいでしょうか。御教示願います。 (S-01 図)	よろしい。
32	杭抜き工事で、二次集計の数量は参考数量の通り見込んで宜しいでしょうか。御教示願います。 (金抜内訳書建築 (参考数量))	金抜内訳書に記載のある「杭抜き工事」は「杭破碎工事」に読み替えてください。 箇所数及び位置は A-097 図に記載の通りです。
33	基礎下地盤改良で、見積上の改良深さを御教示願います。 (S-22 図)	図面に記載のとおり設計 GL-6200 までとします。
34	基礎下地盤改良で、セメント系固化材の見積上の配合比、添加数量を御教示願います。 (S-12 図)	改良体 1 m ³ あたり 320 kgとします。
(A 本体棟 : 外装)		
35	外部建具枠廻りのシーリングは、変成シリコン系 20×15 シーリングと考えると宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-058. 060. 092 ・ 参-03 図)	よろしい。
36	ルーフトレインにおいて、仕様が外部仕上表(鋳鉄製)と、特記仕様書(ステンレス製、融雪用カバーキャップ)では、くい違います。外部仕上表の鋳鉄製を正と考えると宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-012. 019 図)	よろしい。
37	軒天-1(針葉樹合板 t=9.0 の上、杉羽目板 t=12 WP)と、軒天-3(ケイカル板 t=8.0 の上、NAD 目透かし)の廻り縁は、アルミ製と考えると宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-019 図)	よろしい。

38	軒天-1(針葉樹合板 t=9.0の上、杉羽目板 t=12 WP)において、杉羽目板 t=12 は不燃処理品と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-019 図)	軒天-1 は不燃処理は不要です。
39	A-025、A-033、S-13 非常用排水貯留槽の大きさが一致していません。A-033 詳細図、S-13 を正として宜しいですか。	A-033 図、S-13 図を正とします。
40	S-29 図などの外壁構造スリットと外断熱の納まりが、参-03 図外壁詳細図に記載ありませんが、躯体スリット部に1次シールの上、外断熱材も同一位置で目地分けをし、シーリング材を充填した上に、水性アクリル系樹脂塗材で仕上げますか。フカ壁のある内壁側はシーリング 必要ですか。デテールをご指示願います。	構造スリットはエキスパンションジョイントと同様の扱いとしてください。 納まり詳細については協議事項とします。 構造スリットについてはLGS ぶかし壁のある部分にも止水のためシーリングは必要です。
41	防水範囲図 A-086 図に非常用排水貯留槽 1 の防水仕様の記載ありませんが、A-033 図により防水 D として宜しいですか。	非常用排水貯留槽 1 については1階床スラブ裏面の防水は不要です。仕様は防水 D とします。
42	2Fバルコニーにおいて、床の防水が、矩計図(防水 B:ウレタン塗膜防水)と、防水範囲図(防水 I:アスファルト防水(断熱なし))で、くい違います。矩計図の防水 B:ウレタン塗膜防水を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-031. 087 図)	A-087 図を正とします。
43	通用口前の RC 階段の仕上は、モルタル金鏝 仕上と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-033 図)	よろしい。

44	<p>外部仕上表の外壁-2にコンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア塗装とありますが、コンクリート打放しはコンクリート化粧打放しに読み替えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-019 図)</p>	<p>コンクリと打ち放しA種とします。 A-005 図参照。</p>
45	<p>屋根伏図の右上の凡例にデッキ範囲を示すとありますが、ファインフローの範囲として宜しいですか。 (A-026 図)</p>	<p>有孔鋼製床範囲とします。 詳細はA-072 図参照。</p>
46	<p>立面図に令112条-10に該当する部分(外壁-1:告示第1399号)がありますが、外壁-1の仕上以外に、建築工事で見込む内容が不明です。御教示願います。 (A-027 図)</p>	<p>外壁-1の内容以外に見込む内容はありません。</p>
47	<p>共通詳細図に屋上配管取り出し口 壁貫通形(RC壁)がありますが、施工範囲が不明です。御教示願います。 (A-069 図)</p>	<p>クエンチ配管部分とします。</p>
48	<p>特記仕様書 屋根及びとい工事に、といが配管用鋼管と硬質ポリ塩化ビニル管がありますが、使い分けが不明です。外部仕上特記では耐火二層管となっています。御教示願います。 (A-008・019 図)</p>	<p>耐火二層管とします。</p>
49	<p>特記仕様書 屋根及びとい工事に、といがあり、多雪地域を適用するとありますが、参考数量にある防露巻の事と解釈して宜しいでしょうか。前項同様耐火二層管で宜しいですか。御教示願います。 (A-008・019 図. 参考数量本体棟 P25)</p>	<p>よろしい。</p>

50	<p>特記仕様書 塗装工事に、高日射反射率塗装を適用する場合の適用個所は屋上、屋根面の金属面とするとありますが、今回は該当なしと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-010 図)</p>	<p>よろしい。</p>
51	<p>下記の参考メーカー・品番が不明です。御教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段鼻ノンスリップタイル（通用口前 RC 階段）（A-033 図） ・郵便受け（SUS 製 壁付型 既製品 W390×H600×D300 防滴仕様）（A-019 図） 	<p>参考品番は下記に記載の内容とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段鼻ノンスリップタイル ：（株）LIXIL 新階段タイル ・郵便受け ：（株）杉田エース メールボックス MX-101 型（244-331）
52	<p>屋根 1 について、脱気筒を 75 m²当りに 1 か所見込むと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p>	<p>80 m²あたり 1 ヶ所とします。</p>
53	<p>ハ小屋について、壁仕上が外部仕上表、矩計図では外壁-3:ウレタン塗膜防水、立面図では外壁-2:フッ素樹脂クリア塗装とくい違います。外部仕上表、矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-019. 027. 028. 032 図)</p>	<p>仕上表 A-019 図、矩計図 A-032 図を正とし、外壁-3 とします。</p>
54	<p>R 階屋根について、東側立面図に雪庇防止フェンスの範囲と思われる点線の記載がありますが、矩計図の X12 通には落下防止フェンスの記載がないため、東面には不要と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-028. 032 図)</p>	<p>雪庇防止フェンスの設置範囲は X1 通り、Y1 通りパラペット部分です。</p> <p>A-028 図東側立面図に記載されているのは西側の見えがかりです。</p>
55	<p>2 階バルコニーの床仕上について、内部仕上表では防水 C:ケイ酸質系塗布防水、矩計図では防水 B:ウレタン塗膜防水と記載があり、くい違います。矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-024. 031 図)</p>	<p>A-087 図を正とし、防水 I : アスファルト（断熱なし）としてください。</p>

56	<p>2階バルコニーの天井仕上について、内部仕上表では軒天1:針葉樹合板 t=9.0の上杉羽目板 t=12WP、天井伏図、矩計図では軒天2:コンクリートの上 NAD と記載があり、くい違います。天井伏図、矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-024. 030. 031 図)</p>	<p>天井伏図 A-030 図、矩計図 A-031 図を正とします。</p>
57	<p>車寄せの柱脚部根巻コンクリートについて、南側立面図、矩計図より立上りコンクリート W700×H350 を見込むと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-027. 031 図)</p>	<p>よろしい。</p>
58	<p>地下外壁防水について、特記仕様書の防水工事 塗膜防水にて「*地下外壁防水」と記載がありますが、防水範囲図では記載が無く、くい違います。防水範囲図を正とし、不要と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-006. 086 図)</p>	<p>適用対象外としているため不要です。</p>
59	<p>樋について、砕石ピット内～第一桝まではVP管とし、径は下記のように考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐火二層管 φ60→VP管 φ100 ・耐火二層管 φ125→VP管 φ150 <p>(A-031 図)</p>	<p>耐火二層管とします。</p>
60	<p>樋について、1階 X10-11/Y5-6 通の樋3本は非常用排水貯留槽2に放流と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-025 図)</p>	<p>ピット内で合流し X7-X8 間雨水桝に接続とします。</p>
61	<p>定礎石について、工事区分表に建築工事と記載がありますが、仕様、サイズが不明です。御教示下さい。</p> <p>(A-003 図)</p>	<p>不要です。</p>

62	参考数量書 防水工事の 2F 設備スペース 27.4 m ² の該当箇所をご指示ください。	2F バルコニーです。
(A 本体棟：内装)		
63	ビニル幅木において、特記仕様書(8)に軟質と硬質の両方に○印がありますが、使い分けを御教示願います。 (A-011 図)	すべて軟質幅木とします。
64	断熱材において、特記仕様書(8)で A 種 1 または、A 種 1H とありますが、仕上材料名表示凡例より、断熱材 B：A 種 1H と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-011.019 図)	よろしい。
65	仕上リスト(2)にある、下記壁凡例の LGS とボードは、スラブ～天井までと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 ・ LW1、LW1s ・ LW2、LW2s ・ LW6 (A-018 図)	LW1, LW1s, LW2, LW2s, LW6 については原則天井までとします。 A-058～A-061 に記載の法 35 条の 3 区画に該当する部分のみ上階スラブまで立ち上げとします。
66	A - 037 図等平面詳細図の間仕切り壁符号 【6LW～ 】と記載ある'6'の意味は、A - 018 仕上リスト共通事項より、LGS サイズを示すとありますので、W65 の意味と思われます。階高が 4500 と高いことから、下地 w90 は必要と思いますが、金抜き内訳書にも LGS65 の数量が多く計上されています。ご確認の上ご指示願います。	LGS サイズについては A-069 図 (共 1-14) 及び各個別認定番号の仕様に基づいて算出してください。
67	化学物質の濃度測定について、特記仕様書に測定対象室は仕上げ表によるとありますが、仕上表に記載がありません。測定箇所数を御教示願います。 (A-004.019 図)	4ヶ所 (1 階：中央待合、診察 3、2 階：4 床室、会議室) とします。

68	<p>設備基礎の仕上が不明です。天端・立上り共に部屋仕上に倣うと 考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-037 図)</p>	<p>よろしい。</p>
68	<p>図番 A-075 雑詳細図 (1) K-5a~5c, 6~8 の SUS シンク及び K-20 の作業台 について、 SUS403 バイブレーション仕上げとなっていますが、業務用では、 SUS430 は SUS304 が主となっています。また、バイブレーション 仕上げは、トップ面は施工可能ですが、シンク内は施工できませ ん。 SUS430 または SUS304 のヘアライン仕上げとしてもよろしいでし ょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
70	<p>2 階 4 床室 116~117 間の間仕切壁種別について、2 階法規チェック図 では遮音間仕切壁、2 階平面詳細図では LW4:耐火遮音間仕切と相 違っております。遮音間仕切壁を正と考えて宜しいでしょうか。 御教示願います。 (A-041. 061 図)</p>	<p>A-061 図を正とし LW5 とします。</p>
71	<p>1 階 MRI 等の床嵩上げコンクリート内、2 階特殊浴等の床防水押えコンクリ ート内に φ6.0 100×100 の溶接金網を見込んで宜しいでしょうか。 御教示願います。 (A-021 図)</p>	<p>D10-100×100 メッシュ筋とします。</p>
72	<p>1 階 MRI の巾木について、MRI シルト`詳細図(1)では本工事、仕上 表ではシルト`工事と相違しております。本工事を正と考えて宜し いでしょうか。御教示願います。 (A-021. 参-09 図)</p>	<p>本工事とします。</p>

73	<p>2階特殊浴室の結露受について、部分詳細図(1)ではステンレス t=0.8 ですが、共通詳細図(2)ではアルミ t=1.5 と相違しております。ステンレス t=0.8 を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-070.072 図)</p>	<p>A-072 図を正とします。</p>
74	<p>2階特殊浴室のライニング コンクリートブロックについて、共通詳細図(2)では t=150 ですが、部分詳細図(1)では化粧棚(ライニング 甲板)が W=120 のため納まりません。部分詳細図(1)より t=100 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-070.072 図)</p>	<p>よろしい。</p>
75	<p>2階特殊浴室の排水溝について、高さは H=120、防水モルタル金鍍仕上と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-070.072 図)</p>	<p>高さはお見込みの通り。 仕上は防水 B とします。</p>
76	<p>階段 2・3 において、Y5 通り 2FL 部の梁天端、手摺壁天端仕上は壁仕上に倣いコンクリート金鍍押え+EP 塗装と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-036 図)</p>	<p>よろしい。</p>
77	<p>階段 3 において、階段詳細図(2)の 1 階 Y5 通りにパイプハンガーとありますが、仕様が不明です。御教示願います。 (A-036 図)</p>	<p>天井伏図 A-029 図を参照ください。</p>
78	<p>階段 1(屋上メンテナンス用)において、壁・天井仕上はハ小屋内部に倣い、コンクリート打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-035 図)</p>	<p>よろしい。</p>

79	<p>2階各病室の壁仕上について、仕上表でビニルクロスとEPの記載がありますが、展開図等で使い分けが判断出来ません。使い分けを御教示願います。 (A-023.052 図)</p>	<p>ベッド床頭壁面をD-1：ビニルクロス（A）、それ以外をA-1：EPとしてください。</p>
80	<p>各ユニットシャワーにおいて、樹脂製 150×25 の額縁を4方で見込んで宜しいでしょうか。御教示願います。 (参-11.12 図)</p>	<p>よろしい。</p>
81	<p>砕石ピット・各水槽において、防水・断熱材の指示が無い壁・梁型・天井は型枠ばらしのままと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-031.083.086 図)</p>	<p>よろしい。</p>
82	<p>床下点検口の仕様が、共通詳細図(1)ではアルミ製、特記仕様書ではステンレス製と相違しております。アルミ製を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-012.069 図)</p>	<p>ステンレス製とします。</p>
83	<p>ピットの釜場について、ピット伏図に凡例がありますが、図示がありません。矩計図よりサイズはW600×D600×H650、各水槽に1ヶ所ずつ見込み、仕上はモルタル金鍍+床仕上と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-025.033.034.036 図)</p>	<p>設置個所はS-13 図に記載の位置とする。仕上はお見込みの通り。</p>
84	<p>確認ですが、ピットに排水溝・人通口・通気管・通水管は凡例通り不要と考えて宜しいでしょうか。詳細を御教示願います。 (A-025 図)</p>	<p>通気管 VP100φ（地上部 30 cm 程度立上げ）を Y5 通り X6-7 間、X8-9 間各 1ヶ所設置するものとします。排水溝・人通口・通水管は不要です。</p>

85	<p>2階電気において、平面詳細図に溜め桝とありますが、詳細が不明です。W300×D300×H300、防水珪藻土金罫仕上と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-044 図)</p>	<p>仕上は床仕上同材とします。寸法はお見込みの通り。</p>
86	<p>2階電気において、防油堤内・天端・立上りの仕上は、床仕上に倣い塗床(A)と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-044 図)</p>	<p>よろしい。</p>
87	<p>PS・EPSにおいて、仕上表に壁・天井仕上の記載がございません。一般壁はLGS表し、RC壁はコンクリート打放補修B種素地、天井はコンクリート打放補修B種素地と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-024 図)</p>	<p>よろしい。</p>
88	<p>ラニング壁仕上について、共通詳細図(2)の共2-03ではメラミン化粧板 t=3.0、共2-20では仕上材、共2-21では化粧ケイカル板 t=6.0と相違しております。仕上材料表・参考数量書より、メラミン化粧板 t=3.0を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-019.070 図)</p>	<p>よろしい。</p>
89	<p>内部AW額縁の仕様が不明です。スチール t=1.6+SOP塗、150×25と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-031 図)</p>	<p>各建具枠欄及び参-07 図参照。</p>
90	<p>2階洗浄・調理において、仕上表壁欄にA-2:NADの記載がありますが、矩計図にD-1と記載があり相違しております。A-2:NADを正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-024.031 図)</p>	<p>A-2:NADを正とします。</p>

91	<p>同面壁 LGS～コンクリート取合部に、塩ビ製のハット目地を見込んで宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-037 図)</p>	<p>よろしい。</p>
92	<p>1階風除室 1・2 において、仕上表巾木欄に VB H300 の記載がありますが、展開図に WB の記載があり相違しております。VB H300 を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-020. 045 図)</p>	<p>下記に記載の通りとする。</p> <p>風除 1 A 面：WB B 面：VB</p> <p>風除 2 A 面：WB B 面・C 面：VB</p>
93	<p>1階風除室 1 において、仕上表天井欄に C5a、F-1a の記載がありますが、矩計図に C1b、B-1 の記載があり相違しております。C5a、F-1a を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-020. 031 図)</p>	<p>仕上表 A-020 図を正とします。</p>
94	<p>2階廊下 2-1 において、仕上表天井高さ欄に 3000 の記載がありますが、天井伏図は CH=2700 となっており相違しております。全て CH=2700 を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-023. 030 図)</p>	<p>よろしい。</p>
95	<p>2階 SS において、仕上表天井欄に EP の記載がありますが、施工範囲が不明です。CH=2300 の範囲が EP と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-023. 030 図)</p>	<p>よろしい。特記のない天井部分は B-1：EP とします。</p>
96	<p>2階 SS において、下り天井は LGS+PB t=12.5+EP と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-023. 030 図)</p>	<p>よろしい。</p>

97	2階デイルームにおいて、仕上表にEPの記載がありますが、施工範囲が不明です。該当無しと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-023.030.031 図)	よろしい。
98	1階廊下1-3において、仕上表巾木欄にWBの記載がありますが、施工範囲が不明です。該当無しと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-020.045 図)	壁仕上：E-1b部分とします。
99	1階廊下1-3において、仕上表壁欄にE-1bの記載がありますが、展開図にE-1aの記載がありますが、相違しております。E-1bを正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-020.045 図)	仕上表A-020図を正とします。
100	1階中央待合において、床下地がCF3となっておりますが、施工範囲が不明です。ホール同様にCF2と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-020.037 図)	よろしい。
101	WD木製建具について、参考数量書に木製建具枠の計上がありませんが、必要な場合は仕上与併せて御教示願います。 (参考数量書No.22～24)	仕上は建具表のPVをPUと読み替えるものとします。 材種はゴム集成材程度 t25=とし建具表に記載の内容で計上してください。
102	1階一般MWC等の壁仕上について、仕上表でメラミン化粧板とEPの2種類記載がありますが、使い分けが不明です。全てEPと考えて宜しいでしょうか。メラミン化粧板が必要な場合は範囲を御教示願います。 (A-020 図)	メラミン化粧板はライニング部分とします。

103	2階SKにおいて、平面詳細図通りラインがは不要と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-043 図)	SK2-2には不要です。
104	2階食堂の床について、仕上表でFS(A)とTCP(A)の2種類記載がありますが、使い分けが不明です。全てFS(A)と考えて宜しいでしょうか。また、TCP(A)が必要でしたら範囲を御教示願います。 (A-024 図)	X10 通りより図面右手側をFS(A)、左手側をTCP (A) とする。
105	風除室において、巻き込み防止柵の詳細が不明です。仕様を御教示願います。 (A-045 図)	各建具メーカー標準仕様とします。
106	2階器材庫の床について、仕上表ではCF2-B3、矩計図ではCF1-D-2と相違しております。CF2-B3を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-024. 032 図)	よろしい。
107	2階器材庫・無菌室・患者洗濯室の天井高さについて、仕上表では2500、矩計図・天井伏図では2700と相違しております。2500を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-024. 030. 032 図)	天井伏図 A-030 を正とし 2500 とします。
108	2階無菌室の天井仕上について、仕上表ではC4-B1、矩計図ではC3-B-1と相違しております。C4-B1を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-024. 032 図)	よろしい。

	(A 本体棟：建具)	
109	AW-101～301 において、建具符号:AW(アルミ製建具)が建具表(備考):アルミ樹脂複合サッシとくい違います。AW(アルミ製建具)を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-064 図)	建具種別は各建具の備考欄に記載の通りとしてください。
110	図番 A-066 内訳書 A-No. 51 LHD-216 について、建具表とキープランは手動となっておりますが、内訳書では自動ドアと記載があります。どちらを正と考えればよろしいでしょうか。	A-066 図を正とします。
111	図番 A-066 内訳書 A-No. 51 LHD-218 について、建具表とキープランは自動ドアとなっておりますが、内訳書では自動ドアと記載がありません。どちらを正と考えればよろしいでしょうか。	A-066 図を正とします。
112	図番 A-065 内訳書 A-No. 42 SD-113 について、内訳書に防火設備と記載がありますが、防火設備と考えてよろしいでしょうか。	A-065 図を正とし非防火とします。
113	図番 A-061, A-065, 参-15 内訳書 A-No. 43, 別紙明細 No. 23 SD-209 について、設置位置が手術室詳細図の XSSD-OP-A と同じかと思われます。SD-209 は見積りなし、手術室工事の XSSD-OP-A のみ計上と考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
114	外部水切廻りのシーリングは、変成シリコン系 15×10 シングル シーリングと考えると宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-064. 093 図)	よろしい。

115	<p>鋼製建具の仕上において、建具表では外部鋼製建具:DP・SOP、内部鋼製建具及びシャッター: DP、SOP がありますが、建具特記仕様書の外部鋼製建具:DP(2級)、内部鋼製建具及びシャッター:SOP とくい違います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-062～067 図)</p>	建具表を正とします。
116	<p>SSW-101、SSD-102 の枠仕上において、建具表に st 1.6+SOP とありますが、ステンレス建具のため枠仕上もステンレスHL と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-065 図)</p>	参-10 図を参照ください。
117	<p>下記の建具において、ガラスの仕様・サイズが不明です。全て型板ガラス t=4 W80×H1700 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD-213 ・ LD-103 ・ LD-202～203 ・ LD-206～209 <p>(A-067 図)</p>	よろしい。
118	<p>LD-108 のガラスにおいて、Wサイズが不明です。W=80 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-067 図)</p>	よろしい。
119	<p>SD-101 において、建具本体の防火性能なしですが、ガラスはPWC6.8 になっております。建具表通り PWC6.8 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-065 図)</p>	よろしい。

120	SD-213 において、ガラスの仕様、サイズが不明です。フロントガラス t=5 W1760×H800 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-065 図)	質疑回答No.117 参照。									
121	NSW-101～104 において、鉛ガラスの厚みが不明です。t=1.6 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-067 図)	各必要鉛換算量に対応したガラス厚としてください。									
123	WD-201 の扉仕上において、建具表に 0 とありますが、凡例が不明です。御教示願います。 (A-067 図)	オレフィンシートとします。(A-062 図参照)									
124	下記の建具の数量において、建具キープランが建具表とくい違います。建具キープランを正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 <table border="0" data-bbox="224 925 716 1053"> <thead> <tr> <th></th> <th>建具キープラン</th> <th>建具表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ AW110B</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>・ SW102</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> (A-058. 060. 64. 67 図)		建具キープラン	建具表	・ AW110B	1	2	・ SW102	0	1	下記に記載のとおりとします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ AW110B：くい違いなし ・ SW102：建具表を正（風除 1 展開図 A 面建具）
	建具キープラン	建具表									
・ AW110B	1	2									
・ SW102	0	1									
125	建具特記仕様書にステンレス製の外部建具にはフッ素樹脂クリア塗装またはアクリルシリコンクリア塗装を行うとありますが、使い分けが不明です。フッ素樹脂クリア塗装と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-062 図)	よろしい。									

126	<p>参考数量書において、下記の項目がありますが、該当建具が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。否の場合は該当建具を御教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金属製建具用（内部建具） 建具廻りシーリング 15*10 耐火 5.8m ・ 金属製建具用 型板ガラス T4 4.45 m²以下 0.7 m² ・ 金属製建具用 フロートガラス T6 4.45 m²以下 4.4 m² ・ 金属製建具用 複層ガラス FL5+A12+FL5 T22 2.00m² 以下 3.7m² ・ 金属製建具用 強化ガラス T10 2.00 m²以下 0.3 m² ・ 金属製建具用 ガラス廻りシーリング 8*8 シリコン 36.1m <p>(A-064～067 図. 参考数量書)</p>	<p>参考数量ですので、建具表及び本書の内容にて計上してください。</p>
127	<p>外部鋼製建具の性能において、建具表:SAT が建具特記仕様書:AT とくい違います。建具表:SAT を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-062. 065 図)</p>	<p>よろしい。</p>
128	<p>SD-104. 203 のガラスは、建具表に PWC6.8 ですが、特定防火設備のため FTP6.0 に読替えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-062 図)</p>	<p>よろしい。</p>

129	引き戸本体(LHD)のWサイズは全て有効寸法+150と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-066 図)	よろしい。
130	WD-201 のガラスにおいて、仕様、ガラス厚が不明です。御教示願います。 (A-067 図)	A-067 図に記載の通りとします。(各メーカー標準仕様)
131	金属製建具用 充填モルタル(内部建具)の数量において、積算数量:436 が参考数量書:46.1 とくい違います。杢摺下全てに充填モルタルを見込むとし、積算数量:436 を正と考えて宜しいでしょうか。否の場合は施工範囲を併せて御教示願います。 (A-064~067 図. 参考数量書)	No.131 に記載の建具以外は充填モルタルを見込んでください。
132	金属製建具用 充填モルタル 防水剤入り(内部建具)の数量において、積算数量:12.8 が参考数量書:78.5 と数量差異があります。厨房内の防水面を施工範囲とし、積算数量:12.8 を正と考えて宜しいでしょうか。否の場合は施工範囲を併せて御教示願います。 (A-061 図. 参考数量書)	外部設置 SD および LHD-214、LHD-215、LHD-216、LHD-219 は充填モルタル(防水剤入り)としてください。 上記以外について充填モルタルを見込んでください。
133	建具特記仕様書に PS・DS・EPS の扉で天井高さまでのものには上部内側枠に防煙垂壁(StPL-1.6, H=300)を設置することとありますが、該当建具がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。否の場合は該当建具(数量含む)を併せて御教示願います。 (A-062 図. 参考数量書)	よろしい。
134	SD、WD の杢摺は特記なき限りステンス HL と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-065. 67 図)	よろしい。

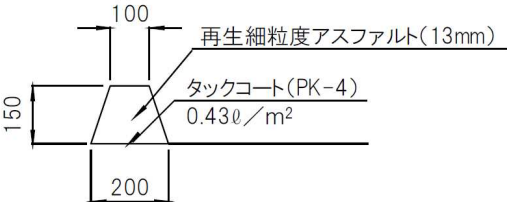
135	<p>AW、AD、AG、SGにおいて、建具表に枠見込の記載がありますが、額縁サイズと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-064, 065 図)</p>	<p>よろしい。</p>
136	<p>LHD-216 建具表とキープランゲは手動、内訳書に自動ドアと記載有ります。どちらを正とするかご指示下さい。</p> <p>(A-060, 061, 066 図)</p>	<p>質疑回答No.110 参照。</p>
137	<p>・ LHD-218 建具表性能欄とキープランでは自動ドア、内訳書に自動ドアの記載ありません。どちらを正とするかご指示下さい。</p> <p>(A-060, 061, 066 図)</p>	<p>質疑回答No.111 参照。</p>
138	<p>・ SD-113 内訳書に防火設備の記載がありますが、建具表とキープランには記載ありませんが、防火設備を正として宜しいでしょうか。</p> <p>(A-058, 059, 065 図)</p>	<p>質疑回答No.112 参照。</p>
139	<p>・ SD-209 設置位置が手術室詳細図の XSSD-OP-A 重複しているようですが、SD-209 は手術室工事区分と記載ありますが、WH 寸法含め手術室工事の XSSD-OP-A の仕様にて計上させて頂いて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-060, 061, 065 図、参-13, 15)</p>	<p>よろしい。</p>

140	<p>参考数量書において、下記の項目がありますが、該当建具が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。否の場合は該当建具を御教示願います。</p> <p>・シート建具(w1200*h2100) 一式 (A-064～067 図. 参考数量書)</p>	SSD-102 とし詳細は参-10 図を参照ください。
(B 駐輪場)		
141	<p>駐輪場土間下の防湿シートは不要と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-090 外詳 03・A-091 図)</p>	不要です。
142	<p>駐輪場のコンクリート強度の記載がありません。以下の内容と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(1) 基礎コンクリート : Fc21 S15 (2) 土間コンクリート : Fc21 S15 (A-091 図)</p>	よろしい。
143	<p>駐輪場外周土間立下げ部の配筋は、D10@200 シングルクロス、端部 1-D13 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-091 図)</p>	よろしい。
(C カルテ庫)		
144	<p>カルテ庫の基礎及び土間コンクリートのスランプは 15cm と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-094 図)</p>	S-15 とします。

145	<p>カテ庫の機械基礎について以下の内容と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(1)コンクリート強度：Fc21 S15 (2)配筋：D13@200 縦組、横筋 D10@100 (A-092 図)</p>	<p>(1) よろしい。 (2) S-29 図機械基礎参照。</p>
146	<p>カテ庫基礎伏図兼アンカープラン図において、土間 FL=GL+200 とありますが、断面詳細図では GL+150 と相違しております。GL+150 を正と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-093 図, 094 図)</p>	<p>よろしい。</p>
147	<p>カテ棟は、耐火、準耐火の指定はなく、その他の建築物の軽量鉄骨造ですが、外部建具枠廻りにはロックウール充填の必要ありますか。</p> <p>(A-002・092 図)</p>	<p>不要です。</p>
148	<p>外部仕上表の基礎にコンクリート打ち放し 撥水剤塗とありますが、コンクリート打ち放しはコンクリート化粧打ち放しに読み替えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-092 図)</p>	<p>コンクリート打ち放し A 種とします。</p>
149	<p>鉄骨以外の屋根、外壁について、メーカー指定はないと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-092 図)</p>	<p>A-092 図に記載の仕様同等以上であれば指定はありません。</p>
150	<p>AD-1a において、建具本体の防火性能なしですが、ガラスは網入型 6.8 になっております。建具表通り網入型 6.8 と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-093 図)</p>	<p>よろしい。</p>

151	LSD-1.2の枠仕上はSOPと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-093 図)	よろしい。
152	地中熱機械室において、ポンプ制御盤基礎の高さが不明です。機械基礎に倣いH=150と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-092 図)	よろしい。
153	天井点検口の有無が不明です。必要な場合は、サイズ・仕様・数量を御教示願います。 (A-092 図)	不要です。
(D 車庫棟)		
154	車庫棟の基礎コンクリート強度はFc18、S15と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-091 図)	Fc-21、S-15 とします。
155	車庫棟の基礎コンクリート強度はFc18、S15と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-091 図)	Fc-21、S-15 とします。
(E コミ庫)		
156	コミ庫の基礎コンクリートのスランプは15cmと考えて宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-095 図)	よろしい。

157	<p>ゴミ庫基礎断面図に基礎立上壁内の縦筋はφ9@150 及び@250 とありますが、参考数量にありません。図面通り丸鋼φ9 は必要と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-095 図, 参考数量付属棟 P8)</p>	<p>よろしい。</p>
158	<p>ゴミ庫参考数量において、異形鉄筋 D10-0.2t ありますが、図面に D10 が見当たりません。施工範囲を御指示下さい。</p> <p>(A-095 図, 参考数量付属棟 P8)</p>	<p>D10 を丸鋼 9φ と読み替えてください。</p>
159	<p>ゴミ庫基礎断面図において、アンカーボルトは別途と記載がありますが、材料・取付は基礎工事側施工と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(A-095 図)</p>	<p>よろしい。</p>
(Fポンプ庫)		
160	<p>受水槽ポンプ庫のコンクリート強度の記載がありません。以下の内容と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(1) 基礎コンクリート：Fc21 S15 (2) 土間スラブコンクリート：Fc21 S15</p> <p>(A-096 図)</p>	<p>基礎、スラブ共 Fc-24、S-15 とします。</p>
161	<p>受水槽ポンプ庫の 300H 機械基礎について以下の内容と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。</p> <p>(1) コンクリート強度：Fc21 S15 (2) 配筋：D13@200 かゝ組、横筋 D10@100</p> <p>(A-096 図)</p>	<p>よろしい。</p>

162	<p>受水槽ポンプ庫基礎伏図において、アンカーボルトのような記載がありますが、仕様が不明です。材料・取付は基礎工事範囲外と考えると宜しいでしょうか。基礎工事の場合、詳細を御指示下さい。 (A-096 図)</p>	<p>基礎工事範囲外（機械設備工事）です。</p>
(外構)		
163	<p>特記仕様書 エット及びその他工事に車止めさくがありますが、施工範囲とサイズ、材種、仕上が不明です。御教示願います。 (A-012 図)</p>	<p>A-088 図 (G-10 : A-090 図 (外詳-08)) 参照。</p>
164	<p>外構平面図(1)において、車庫付近にアスカブとありますが、詳細が不明です。御教示願います。 (A-088 図)</p>	<p>下図参照。</p> 
165	<p>雨水枡 A. B について、H 寸法が不明です。御教示願います。 (A-090 図)</p>	<p>H=1200 とします。</p>
166	<p>外構工作物について、記載なき限りコンクリート強度・スランプは $F_c=21\text{N/mm}^2$ $S=15\text{cm}$ と考えると宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-090 図)</p>	<p>よろしい。</p>
167	<p>外構工作物について、記載なき限り仕上は打放し補修 素地と考えると宜しいでしょうか。御教示願います。 (A-090 図)</p>	<p>よろしい。</p>

168	撤去工事完了後のレベルが不明です。御教示願います。 (A-097 図)	本工事受注者には、解体工事成果品を貸与します。
169	A-088 図に X1Y1 付近、既存地盤レベルと仕上レベル差は、1.6m ありますが、本工事エリア外の外構範囲は別途業者が盛土を行うものと考えて宜しいですか。外周側溝含む別途外構工事は、A-100 仮設計画図記載の概略工程の施工期間とすると、仮設計画図に記載のある、揚重機やコンクリート仮設ヤードと錯綜しますが、工程調整をお願い致します。	別途外構工事範囲の盛土は別途外構工事区分とします。工事ヤード及び工事工程については協議事項としますが、施工上必要な関連工事間の調整についても本業務に含むものとします。
170	A-088, 097・M-304 図によれば、西側外構コンクリート階段 12 段給排水設備やり替えの為、撤去・復旧のようですが、配管ルートを変更して既存階段残置再利用としても宜しいですか。	変更については協議事項とします。 見積内容を同条件とするため、設計図の内容にて見積を行ってください。
171	A-097 図記載の K15 既存 As 駐車場コンクリート階段 6 段撤去とありますが、現調したところ、12 段でしたが、12 段撤去と考えて宜しいですか。	よろしい。
172	A-097 図薬局予定地前既存スロープコンクリート擁壁残置とあり、A-088 図スロープ擁壁中ほどから北側縁石新設と記載されていますが、仕様・納まり・寸法不明です。ご指示願います。	A-090 図（外詳-04）参照。

173	<p>A-097 図、本体建屋中央東西に縦断している、K-02 埋設ヒューム管 90.89m 撤去後の既設体育館側の雨排水は、体育館北西側の残置集水枥～K-04 埋設ヒューム管～K-03 集水枥～新規 U 字溝～K-07 集水枥～K-14 埋設ヒューム管～K-12 スロープ 擁壁脇 U 字溝のルートで排水を接続しても宜しいでしょうか。</p> <p>同様に K-09, 08, 06 残置して K-07 集水枥へ接続。</p> <p>A-100 図の参考仮設計画図では、仮設水路 A・B の排水接続先が不明です。(添付資料参照、東側排水経路計画)</p>	<p>変更については協議事項とします。</p> <p>見積内容を同条件とするため、設計図の内容にて見積を行ってください。</p> <p>接続先は既存雨水枥とします。</p>
174	<p>A-097 図既存外構撤去図の将来薬局予定地の、K-11 間知ブロック撤去跡、A-088 図ホスピタルパーク計画予定高さの勾配にて造成すればよろしいですか。</p> <p>又、南側の標高表示、-2200(684.38)→-2200(685.48)の誤記ではありませんか。</p>	<p>よろしい。</p> <p>標高についてはお見込みの通りです。</p>
175	<p>A-097 図記載の校門、及び校門東側に残置する記念碑の記載が、A-089 図外構平面図に記載ありません。撤去移設は別途で宜しいですか。他リストに記載ある a～m のモニュメントは、基礎の新設のみですか。モニュメントの移設据え付けは、建築所掌ですか。</p>	<p>仮置き場所からの移設も含めて建築工事区分とします。</p> <p>A-089 図 (㉑～㉓) 参照。</p>
176	<p>A-098, 099 地盤面縦横断図記載の病院本体棟設計 GL=684.68, 1FL=684.98 とありますが、A-014 配置図、-088 図外構平面図より GL=684.38、1FL=684.68 の誤記ではないでしょうか。</p>	<p>お見込みの通りです。</p>

177	金抜内訳書建築(参考書)において、外構発生材処理にコンクリート類(無筋)とありますが、コンクリート類(有筋)に読み替えて宜しいでしょうか。またそうでない場合は該当範囲を併せて御教示願います。(金抜内訳書建築(参考書))	よろしい。
178	スロープ部擁壁、機械基礎、モニュメント基礎において、砕石は粒度調整砕石と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。(A-090 図)	再生クラッシュランとする。
179	油水分離槽内の仕上は防水珪砂と考えて宜しいでしょうか。御教示願います。(A-090 図)	よろしい。
(電気設備)		
180	金抜内訳書電気設備：共通 ・IV電線は一般仕様(エコケーブルでない)と考えて宜しいですか。	EM-IEとしてください。
181	E-03 ・キュービクルDS-VCBインターロックは不要と考えて宜しいですか。	インターロックを見込んでください。
182	E-03 図 ・キュービクル用大型消火器は建築工事と考えて宜しいですか。	電気設備工事とします。

	(機械設備)	
183	<p>金抜き工事参考数量機械設備 P24 8 ガス工事 9.1 液化石油ガス設備</p> <p>・備考に別紙明細と記載ありますが、別紙が見受けられません。詳細指示願います。</p>	別紙明細はありません。図面より見積を行い細目の提示が不可能な場合は一式計上としてください。
184	<p>M-003 排水通気管の材質</p> <p>・VU管 保温はなしとして考えて宜しいですか。</p>	VP管、保温は、外壁より1mの範囲をグラスウール保温とします。
185	<p>M-317 ガスバルクタンク</p> <p>・タンク本体は別途ガス会社支給品と考えて宜しいですか。</p>	機械設備工事区分とします。
186	<p>消火設備(スプリンクラー設備・消火器設備)の指定業者、または推薦業者を教えてくださいませんか。</p>	指定業者、推薦業者はありません。
187	<p>クエンチ配管が系統図では100φ、図面ではSUS200φとありますが、内訳書には載っていません。仕様、数量をお教えてください。</p> <p>図面：M111, 114-116</p>	<p>M-114. 115. 116 図を正とします。</p> <p>SUS スケジュール 10 200φ 8mとし、保温をグラスウール 40K 50mm厚とします。</p>
188	<p>機器表ではACP1-4-8は壁掛けとありますが、内訳書では天カセ1方向となっております。どちらが正でしょうか？</p> <p>図面：M100</p>	M-100 図を正とします。
189	<p>機器表ではACP1-6は224型壁掛けツインとありますが、内訳書では140型壁掛けツインとなっております。どちらが正でしょうか？</p> <p>図面：M100</p>	M-100 図を正とします。

190	<p>機器表では ACP1-10 は 180 型壁掛けとありますが、内訳書では 180 型壁掛けツインとなっております。能力と室内機の数の確認をお願いします。(店舗用パッケージエアコンで 180 型なし)</p> <p>図面：M100</p>	<p>店舗用パッケージエアコン 224 形とします。</p>
191	<p>内訳書に FE2-22 はあるが、FE2-25 なし。図面に FE2-25 はあるが、FE2-22 はなし。内訳の FE2-22 を FE2-25 としてよろしいでしょうか？</p> <p>図面：M113, 116</p>	<p>M-104 機器表を正とします。</p>
192	<p>”制気口リスト(3) 2階洗浄室(フード③)ですが、リストでは 870×870×900H となっておりますが、金抜きでは 900×900×900H とございます。どちらを優先すればよろしいでしょうか。” 図面：M-108・金抜</p>	<p>内訳書を正とします。</p>
193	<p>機器表(定風量装置)と、平面図に無くて、金抜きには CAV-1-7、2-5、2-6、2-11、が有りますが、無しという事で宜しいでしょうか。</p> <p>図面：M-105・114・115・金抜</p>	<p>M-105・114・115 図を正とします。</p>
194	<p>下水取り出しですが、下水道本管に対して逆向きに流入となるため取り出しできないと思われます。取り出し方法を具体的にお教えください。</p> <p>図面：M304</p>	<p>既設 1 号マンホールに副管用十字管継手を使用し取り出し、副管を付けて流れ方向を変え、流入とします。</p>

195	<p>CAV の仕様に DDC 制御との記載があるのですが、自動制御図面には DDC での制御になっていません。(DDC 制御の場合中央監視盤が必要だったり、複雑になるとのこと)、CAV の DDC 制御は不要と考えてよろしいでしょうか？</p> <p>図面：M105, M200</p>	DDC 制御は不要とします。
196	<p>付属棟 LPG バルク庫及び液酸バルク庫の基礎・上屋の内訳が見当たりません。明細がありましたら、ご明示をお願いいたします。</p>	明細はありません。
197	<p>細目別内訳 本体棟 1 階 No.24/No.26 8.1 液化石油ガス設備、及び 10.1 医療ガス設備 別紙明細の記載がありますが、明細がありません。1 式計上でよろしいですか。別紙明細がありましたら、ご明示をお願いいたします。</p>	別紙明細はありません。図面より見積を行い、細目の提示が不可能な場合は一式計上としてください。
198	<p>細目別内訳 本体棟 1 階 No.24/No.26 8.1 液化石油ガス設備、及び 10.1 医療ガス設備、及び 11.1 厨房器具設備 別紙明細の記載がありますが、明細がありません。1 式計上でよろしいでしょうか。別紙明細がありましたら、ご明示願います。</p>	別紙明細はありません。図面より見積を行い、細目の提示が不可能な場合は一式計上としてください。
199	<p>別紙明細 本体棟 2 階 No.23 換気設備機器搬入費が、本体棟 2 階細目別内訳にございませませんが、追加して計上してよろしいでしょうか。</p>	よろしい。
200	<p>M-115・M-123 図 手術室空調換気機器本体据付、及び配管・ダクト工事全て別途工事と考えてよろしいですか。</p>	建築工事区分（手術室工事）とします。

201	M-124 図 注記) 屋外機積雪架台 鉄骨架台 1000H は、記載のとおり、別途建築工事としてよろしいでしょうか。	本工事とし建築工事区分とします。
202	M-124 図 MRI チラーは機器・据付共別途医療メカ工事、加湿給水管 GV 止めより設備工事と考えてよろしいでしょうか。	冷却水管、加湿給水管のバルブ止、ドレン管は、機械設備工事区分とします。 M-122. 123. 124 参照
203	M-111・114・115・116 図 以下No.10・11 クエンチ配管及びクエンチボックス（コンクリート基礎共）は内訳書に見込まれておりますか。お見込みでない場合は契約後協議と考えてよろしいですか。	ボックスは建築工事（躯体工事）とします。 クエンチ配管は機械設備工事とします。口径は M-114・115・116 図に記載のとおりとします。
204	M-111・114・115・116 図 クエンチ配管が設備工事の場合、SUS 管のスケジュールのご明示をお願いします。	スケジュール 10 とし、保温をグラスウール 40K 50 mm厚とします。
205	M-116 図 クエンチボックスが設備工事の場合、材質及び大きさのご明示をお願いします。	質疑回答No.203 参照。
206	M-003 図 凡例 給湯管の記載がありませんが、配管材料表（保温工事共）がありましたら、ご明示願います。給湯管の配管材料及び保温は、内訳書どおりとしてよろしいでしょうか。	標準仕様書のとおりとします。

207	M-003 図 凡例及び内訳書 排水管・通気管 排水管・通気管は、図面では硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)、内訳書では、リサイクル塩化ビニル発泡三層管 (RS-VP) ですが、採用は VP 管としてよろしいですか。(リサイクル発泡三層管は、流通状況により、調達に時間を要するため)	M-003 図に記載の通りとします。
208	M-001・M-003 図 内訳書 給水管保温 ・給水管ヒート内保温は、グラスウール保温筒か、ポリスチレンフォーム筒 (標準仕様書) のどちらでしょうか。 ・給水管屋外露出保温の保温厚は、25A を 30 t、32A・40A を 40 t として見込んでよろしいですか。	M-003 を正とします。 保温厚は標準仕様書の通りとします。
209	M-001・M-003 図 内訳書 排水管保温 M-003 図では、排水管ヒート内は保温不要ですが、内訳書では見込まれています。どちらを優先すればよろしいですか。	排水管の保温は不要です。(M-003 図に記載の通り。)
210	内訳書 本館棟 1 階 (細目別内訳) No.21 /M-300 図 ペーパータオルホルダーの合計個数は、50 個と考えて計上してよろしいでしょうか。	50 個とします。
211	内訳書 本館棟 2 階 (細目別内訳) No.22 /M-301 図 内訳書に洗濯機パン 5 個の記載がありませんが、洗濯機用パンを含めて計上してよろしいでしょうか。	よろしい。(M-301 図に記載のとおり。)
212	M-311 図 排水配管 厨房高温排水は図示に HT と記載がある配管がございますが系統全て HTVP と見込んでよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

213	<p>M-125 図 地中熱機器表（参考）</p> <p>PCH-1 循環ポンプは、*取付を本工事とする、となっておりますが、内訳書に計上がありません。「地中熱利用設備設置工事（Ⅱ期）」に含まれていると考えてよろしいでしょうか。また、地中熱機器表の機器は、全て設置共別途工事と考えてよろしいですか。</p>	<p>M-125 図を正とし、PCH-1×2 台の取付は本工事とします。（機器は別途工事支給品とする）</p> <p>その他、地中熱機器表の機器は別途工事にて手配、取付とします。</p>
214	<p>M-104 図/内訳書 本館棟 1 階（細目別内訳）</p> <p>FE-1-17 ショックファンは、耐湿形として計上してよろしいでしょうか。</p>	<p>M-104 図に記載の仕様としてください。（消音耐湿型。）</p>
215	<p>図番 M-003 消火設備</p> <p>スプリンクラー配管仕様について、凡例の配管用炭素鋼鋼管 JISG3452 と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
216	<p>図番 M-001 換気設備</p> <p>全熱交換器 E A ダクト保温範囲についても、外壁より 1 m と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>